

新潟県立自然科学館
平成 29 年度事業計画書

平成 29 年 2 月

サイエンス・フューチャーグループ

平成 29 年度 新潟県立自然科学館事業計画書

1. 運営の基本方針

新潟県立自然科学館は、県立の総合科学館として「新潟県立自然科学館条例」「新潟県立自然科学館条例施行規則」を遵守し、県民の自然科学に関する教養を高め、県民文化の向上に寄与するため、すべての人に開かれた『地域のサイエンスセンター』として地域の方々に親しまれ、愛される施設を目指します。

事業活動については、「参加」「対話」「連携」「創造」を重視した活動を推進するとともに、運営にあたっては、業務に必要な専門的知識や技能・資格等を備えた職員を配置し、利用者視点と全職員が一丸となった活動により「安心・安全の確保」「改善・工夫」を心がけた運営を行っていきます。

2. 事業活動に関する計画

(1) 自然科学知識普及活動

① 常設展示による体験学習

自然科学 (2 階・3 階)、生活の科学 (2 階・3 階)、不思議な広場 (2 階)、新潟県の移り変わり (1 階) の屋内展示エリアおよび屋外展示エリアにおける展示物について来館者が体験できるハンズオン展示として維持・管理を行うとともに、情報更新などにより新鮮さや魅力の向上を図ります。

また、利用者の自然科学に対する理解増進や興味喚起を誘発するためにサイエンスコミュニケーションを主体とした活動を推進していきます。

② 特別展示による体験学習

より多くの人々が科学に興味を持つような特定のテーマや即時性の強いテーマによる特別展や特別イベント等を開催します。

名 称	内 容	会 期
春季特別展 「PIECE OF PEACE レゴ®ブロックで作る世界 遺産展 PART3」	世界 27 カ国 42 の世界遺産をレゴ ®ブロックで再現したチャリティーア ートの特別展 入場料: 大人 600 円、 小・中学生 400 円	3 月 18 日(土) ~ 5 月 7 日(日)
夏季特別展 (タイトル未定)	視覚効果による体験型の特別展を 予定 ※特別展入場料設定予定	7 月 15 日(土) ~ 8 月 27 日(日)
秋季催事 (タイトル未定)	内容未定	11 月予定
春季特別展 (タイトル未定)	家族で楽しめる体験型の特別展 を予定 ※特別展入場料設定予定	平成 30 年 3 月中 旬~

③ プラネタリウムによる体験学習

全天周映像番組や学習番組の投影および天文解説、プラネタリウムを活用した特別催事を行います。

名 称	内 容	時 期
一般番組	プラネタリウムのドーム空間を利用した大型映像番組	通年 平日 11:00、15:00 土日祝 10:30、12:30 13:30、15:30
学習投影番組	小・中学生の天文単元の学習に合わせた学習番組	随時（予約申込み制）
幼児番組	幼児（未就学児）を対象とした天文番組	随時（予約申込み制）
天文生解説番組 「星空さんぽ」	季節など特定のテーマについて解説員がライブ解説を行う天文番組	通年 平日 14:00 土日祝 11:30、14:30
特別番組 (イベントにより外部と連携有り)	音楽(コンサート含む) やヒーリング、特定層向けの特別番組 ※イベントに合わせて、特別入場料設定予定	通年 (特定日)

【一般番組】

名 称	内 容	会 期
春季プログラム	「Feel the Earth Music by 葉加瀬太郎」	3月18日(土)～ 7月14日(金)
夏季プログラム	「秘密結社鷹の爪 ジュラジュラジュラシクトラベル」	7月15日(土)～ 9月10日(日)
秋季プログラム	「星の恋人」	9月16日(土)～ 12月17日(日)
冬季プログラム	「ノーマン・ザ・スノーマン 流れ星のふる夜に」	12月23日(土・祝) ～3月11日(日)

④ 実演等による参加型体験学習

専門家(研究者・指導者)や科学館スタッフによる科学教室やワークショップ等の体験型プログラムを実施し、参加者が実感をもって理解し、自己啓発できる機会を提供していきます。

名 称	内 容	時 期	主な開催場所
科学実演/サイエンスショー	来館者を対象とした科学現象などの実演	年100回以上	常設展示フロア サイエンスラボ
科学教室	実験や講義(対話)により科学に興味をもってもらうためのプログラム	年20回以上	科学室 サイエンスラボ 講堂
工作教室	ものづくりの体験を通じて科学に興味をもってもらうためのプログラム	年20回以上	サイエンスラボ
講習・講演会	専門的な内容の講習や専門家等の講演	年5回以上	講堂 ステージ
天体観望会 「星空ウォッチング」	望遠鏡を用いた屋外での天体観察	年6回以上	屋上

体験プログラム	自然観察会等の体験型プログラム	年 20 回以上	科学室 屋外展示場
特別プログラム	外部連携などにより実施するプログラム	年 10 回以上	館内および館外

(2) 学習支援活動

① 学校と連携した総合学習支援

小・中学校理科の新学習指導要領を軸に総合的、発展的な学習のための活動を学校と連携しながら実施していきます。

名 称	内 容	時 期
学習プログラム	展示を活用して学習・体験した内容をワークシートなどにまとめたりする学習プログラム	随時（予約申込み制）
訪問講義	理科学習支援のため学校へ訪問して実験や実演等の活動を実施	定期（予約申込み制）

② 研修・実習協力

学芸員の専門実習や人材育成、キャリア教育のための職場実習・体験の実施および県内外の文化・教育関連団体の研修(視察等)の受け入れについて協力をを行います。

名 称	内 容	時 期
博物館実習	学芸員課程履修者に対して実務体験による実践的な実習を行う	1 回/年 (7 日間程度)
職業体験	小・中学生等に対して職業理解や総合学習のため実務による職業体験を実施する	数回/年程度 (3 日間程度)
研修(視察)受入	県内外の文化施設や教育団体の研修のための視察等への対応、協力を行う	随時

③ 生涯学習活動支援

生涯学習センターや県内の文化施設等と連携して県民向けの生涯学習活動を推進していきます。また、さまざまなキャリアや知識、技能を有する県民がボランティアとして自然科学館事業に参画する機会を設けます。

(3) 事業・連携推進活動

① 広報宣伝活動

県や地域メディア等と連携し幅広い層を対象に、地域に密着した情報発信を行っていきます。自然科学館ホームページでは利用案内やイベント予定だけでなく科学館の活動や科学情報等についてもわかりやすく紹介するなど工夫をしていきます。

【広報媒体等の利用】

名 称	内 容	時 期	掲載・配布先
県広報誌	県発行の広報誌等への情報提供	定期または随時	県広報、県民だより等
県内メディア	県内向けのメディアへの情報掲載	随時	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌
県内文化施設・教育機関	県内の文化施設や学校(主に小学校)への催事案内	定期(毎月)	新潟市および近隣の学校(特別展の時は配布地域を拡大)

② 交流支援・連携活動

県内だけでなく、広く県外の文化施設や研究機関、団体、企業などと協力し事業活動推進のための情報交換や交流などを行っていきます。

また、館内のテナント(レストラン・ミュージアムショップ)については定期的な連絡会を設定し交流や情報交換を行いながら事業活動推進のため積極的に連携していきます。

連携活動の一環として、館内展示スペース等の資源を活用し他施設と連携、協力した展示活動やイベント等の共催などの連携活動を推進します。

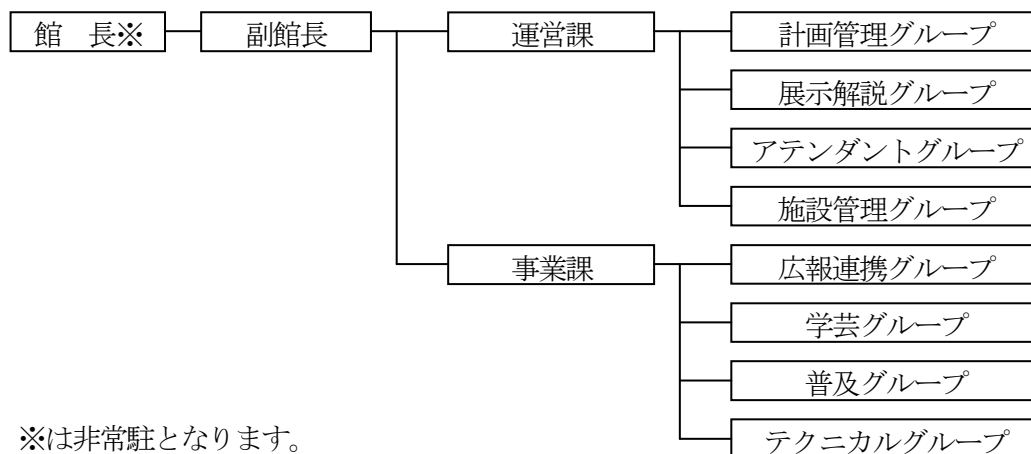
3. 運営活動に関する計画

(1) 開館および休館

開館時間 平日: 午前9時30分から午後4時30分
土日祝および夏期: 午前9時30分から午後5時
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日に振替)
毎月第3火曜日
年末年始(12/29~1/3)

平成29年度の開館日および休館日については別紙「年間カレンダー」のとおり

(2) 運営組織



※は非常駐となります。

(3) 運営・管理業務計画

① 利用者対応

名 称	内 容	時 期
発券業務	利用案内や受付、発券管理を適切に実施する	通年
総合案内業務	入館者対応(館内誘導や館内放送、安全管理含む)やお客様対応として問い合わせや団体受付などを実施する	通年
利用者アンケート	利用者評価やニーズ把握のためのアンケートを実施する	定期または随時

② 安全管理

名 称	内 容	時 期
警備業務	館内安全管理のための巡回や24時間警備(有人・機械)を実施する	通年
危機管理体制やマニュアルの整備	緊急連絡体制や危機管理マニュアルを作成し、災害時に迅速な対応ができるよう周知徹底を図る	通年
自衛消防訓練	火災や地震を想定した訓練を実施する	年2回

③ 施設管理・環境整備

名 称	内 容	時 期
施設・展示物管理	施設環境の管理のため館内外の見回りや施設・展示物の点検を実施する	通年または定期
駐車場管理	駐車場内の車両整理や繁忙期の交通整理・車両誘導等を実施する	通年
植栽管理	除草、剪定、冬囲い対応等館内植栽の環境整備を実施する	定期
清掃	館内環境維持のための日常清掃や定期清掃、廃棄物収集等を実施する	通年または定期